

第 112 回日本泌尿器科学会総会  
ダイバーシティ推進委員会企画プログラム

日時：令和 7 年 4 月 18 日（金）

14：00～16：40（第一部は指導医教育コース認定プログラム）

会場：第 12 会場

テーマ「次の 100 年に向けた働き方改革」

日本泌尿器科学会において 2014 年に設立された「男女共同参画委員会」が 2019 年に「ダイバーシティ推進委員会」と名称変更されてから、今年で 6 年を迎えました。その間に女性泌尿器科医数は更に増加し、女性理事や代議員が就任し、組織に新たな発展がありました。今後の 100 年には、性別だけではなく、年齢やキャリア、地域、価値観といった様々な違いがある医師が多様な働き方をする時代となります。今後の将来に向けた多様性（ダイバーシティ）推進のためのプログラムを開催しましたので、報告します。

第一部：医師の働き方改革時代の医療

14：00～15：00（60分 指導医教育プログラム）

座長：久米 春喜（東京大学泌尿器科）

川崎 麻己（佐賀大学泌尿器科）

講演Ⅰ：医師の働き方改革時代の医療

演者：藤川 葵

医療法人 聖医会 藤川病院 副院長、久留米大学学長直属特命講師

消化器外科医として研鑽を積まれた後、厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室室長補佐として制度の策定に携わられた藤川葵先生にご講演いただきました。働き方改革が始まって 1 年、次の 100 年に向けて持続可能な働き方を目指すために必要な知識を学ぶことができました。熱意のある貴重なご講演でした。

講演Ⅱ：卒前からのシームレスなキャリア形成支援～リーダー養成の視点から

演者：蓮沼 直子

広島大学大学院医系科学研究科 医学教育学 教授

広島大学医学部附属医学教育センター センター長

本学会は女性医師の割合がこの 20 年で約 2%から 9.3%まで飛躍的に増加しており、特に 20 代、30 代での増加が顕著です。一方でロールモデルとなる指導医層ではまだ女性医師の割合は低く、女性医師のリーダー人材育成を目的としてご講演をいただきました。卒前からのキャリア形成に関する内容で性別や年代に関わらず有用な内容でした。

第二部：「ダイバーシティ推進委員会の活動報告」

15:00 ~ 15:30 (30分)

座長： 秦 聡孝 (大分大学泌尿器科)

山本 恭代 (徳島大学泌尿器科)

講演Ⅰ：女性理事としての活動

演者：前田 佳子 (東京女子医科大学附属足立医療センター)

講演Ⅱ：女性座長候補者リスト作成後のアンケート調査

演者：進藤 哲哉 (札幌医科大学泌尿器科)

講演Ⅲ：他学会のポジティブ・アクションの現況調査

演者：篠木 理沙 (横浜市立大学泌尿器科)

ダイバーシティ推進委員会委員の3名から、委員会の活動内容について報告を行いました。これまでの経緯や現状、そして今後の課題が明らかにされました。



第三部：「あなたも明日から名座長？座長ハンズオンセミナー」

15：40 ～ 16：40（60分）

司会：木村 友和（名古屋大学泌尿器科）

ファシリテーター：

赤松 秀輔（名古屋大学）

松本 富美（大阪母子医療センター）

松下 千枝（済生会中和病院）

樋口 まどか（北海道大学）

松尾 かずな（名古屋大学）

佐藤 克哉（神戸大学）

塩崎 啓登（徳島県立中央病院）

窪田 理沙（岡山医療センター）

濱崎 和代（済生会熊本病院）

女性座長の登用率向上を目指して、2021年から日本泌尿器科学会では「女性座長候補者リスト作成のためのアンケート調査」を行い、座長候補者となる人材のリストを作成しています。座長依頼を断る理由として、「経験不足」や「自信のなさ」が多く上げられました。座長の手引き作成やハンズオンセミナー開催に関する要望を頂きました。循環器学会作成の「初めての座長の手引き 改訂第2版」を利用しながら、座長のハンズオンセミナーを開催しました。1グループに2名のファシリテーターが付き、ファシリテーターが用意したポスター発表に対し、受講者が座長を行う実践形式のセミナーです。受講者からもファシリテーターからも大変好評なセミナーでした。

Closing Remarks

ダイバーシティ推進委員会長 土谷 順彦（山形大学泌尿器科）





第三部参加者には記念品を配布しました。

今回のプログラムには、多くの先生方にご参加いただきました。第一部には202名、第二部には120名、第三部には23名のご参加があり、関係各位に心より感謝申し上げます。

第一部・第二部の講演は、日本泌尿器科学会ホームページ内ダイバーシティ推進委員会ページで公開予定です。ぜひご視聴ください。

また、今後もダイバーシティ推進委員会では、泌尿器科学会員の先生方が快適にキャリアを形成し、安心して働ける環境づくりを目指し、有意義なプログラムを企画・提供してまいります。引き続きご支援とご参加をよろしくお願いいたします。

文責) 日本泌尿器科学会 ダイバーシティ推進委員会 山本恭代